

行政栄養士人材育成に関する実態調査結果報告会  
2021年7月31日（土）

# 市町村（保健所設置市を除く）に勤務 する行政栄養士を対象とした調査

厚生労働科学研究

「公衆衛生領域を中心とした

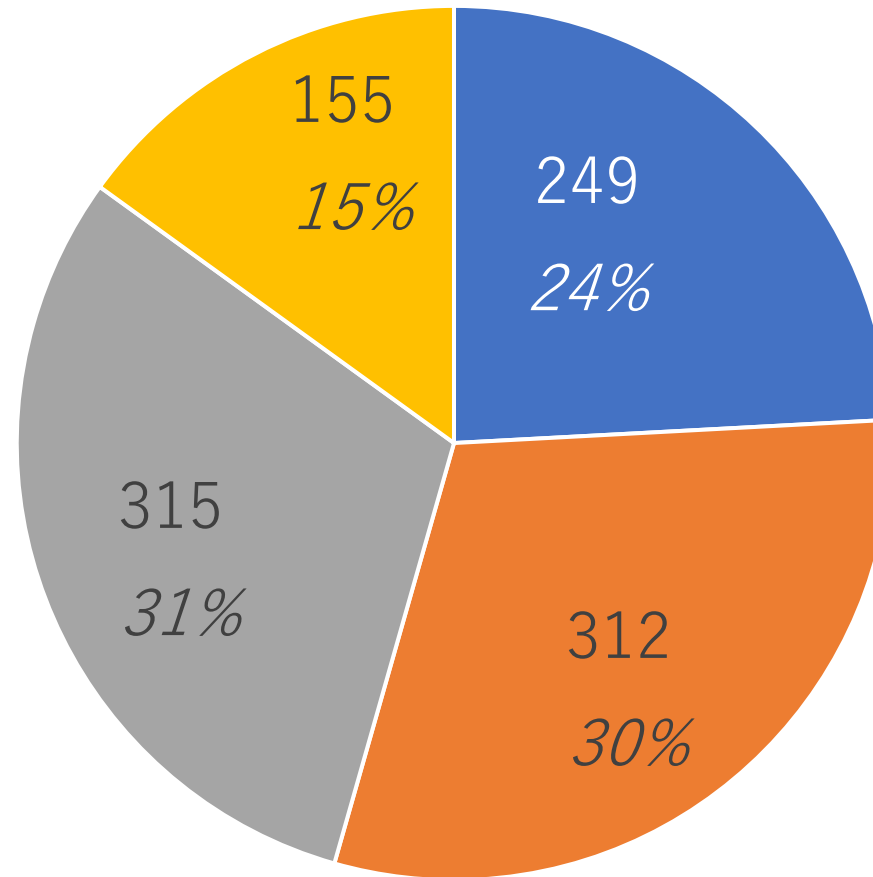
自治体栄養士育成プログラム開発のための研究」研究班

# 調査の実施状況

- 市（保健所設置市を除く）町村に勤務 → 2,870 人  
（令和元年6月1日現在の厚労省の行政栄養士配置状況から、  
健康づくりを担当する行政栄養士の人数）
- 回答者数 1,031 人
- 回収率 35.9 %

# 回答者の年齢構成

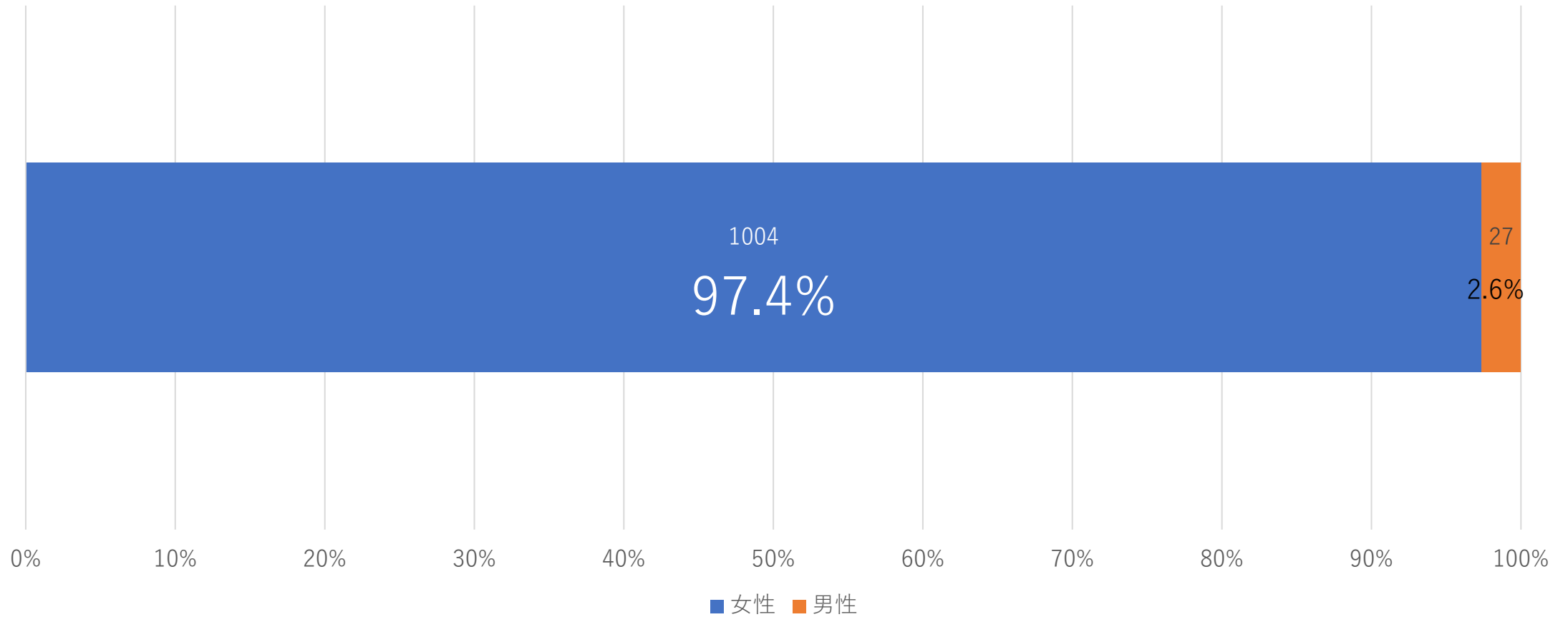
n=1,031



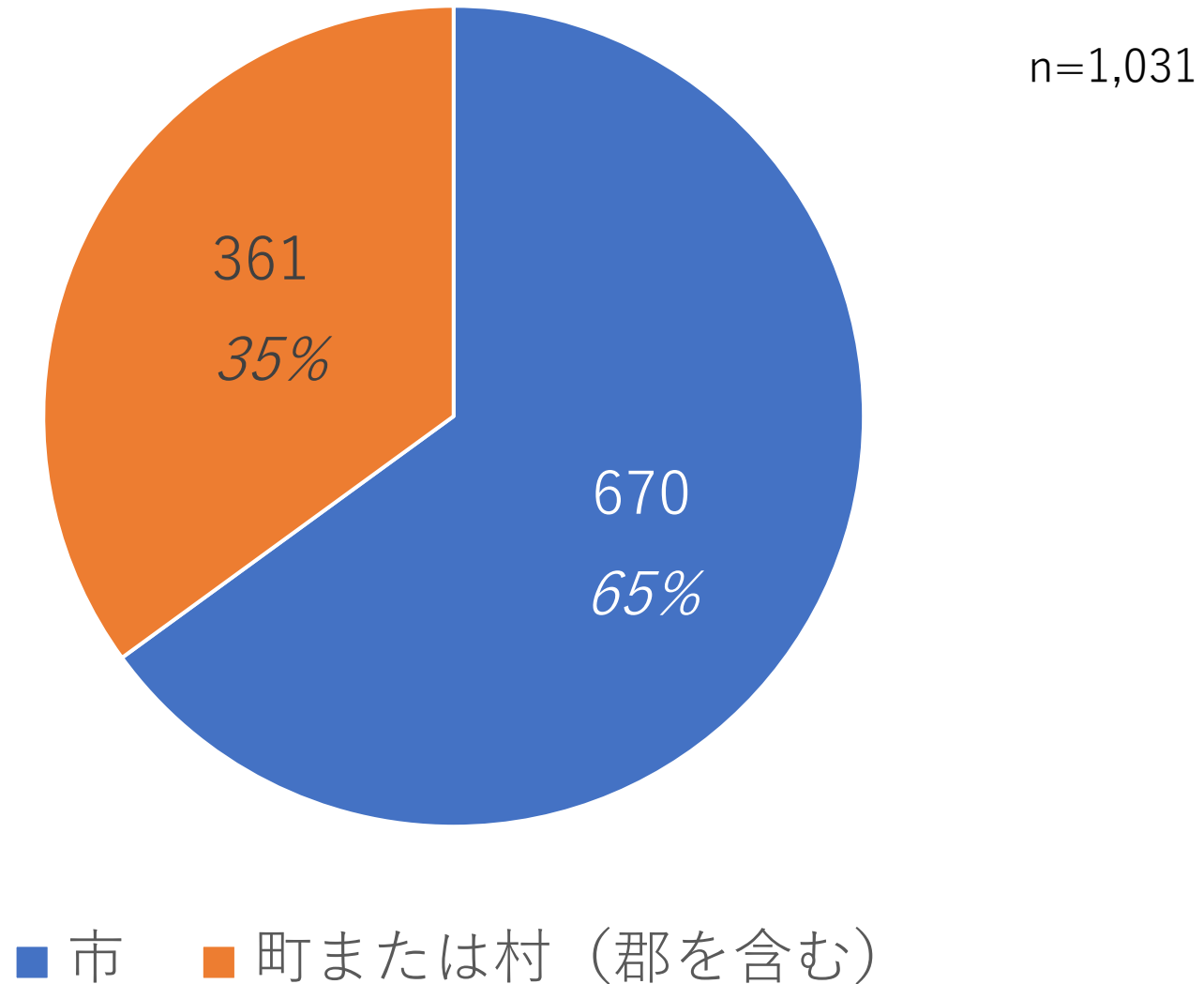
■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代以上

# 回答者の性別

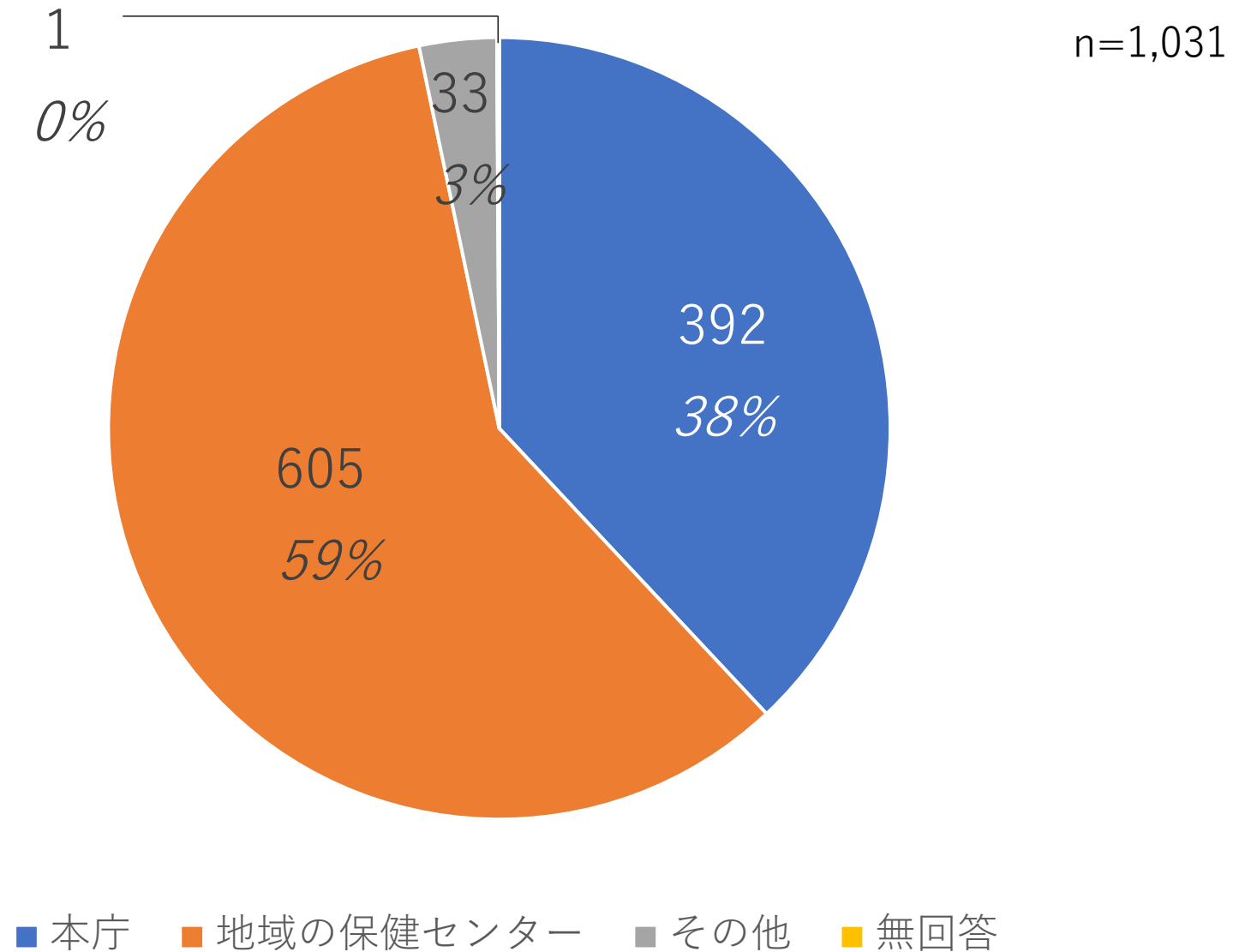
n=1,031



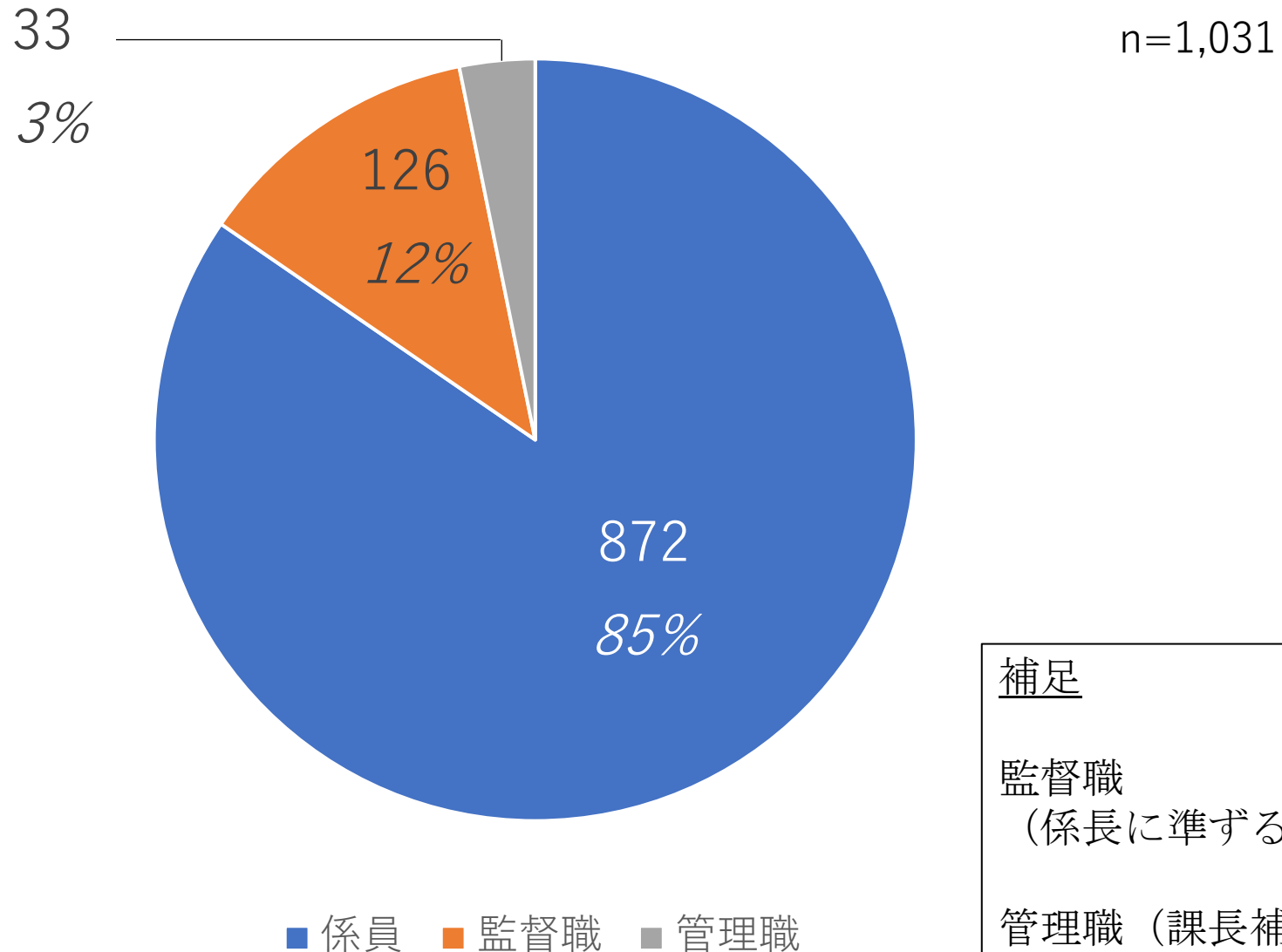
# 現在勤務している行政区分



# 現在勤務している行政機関・部署



# 現在の職位（本庁での職位として勘案）

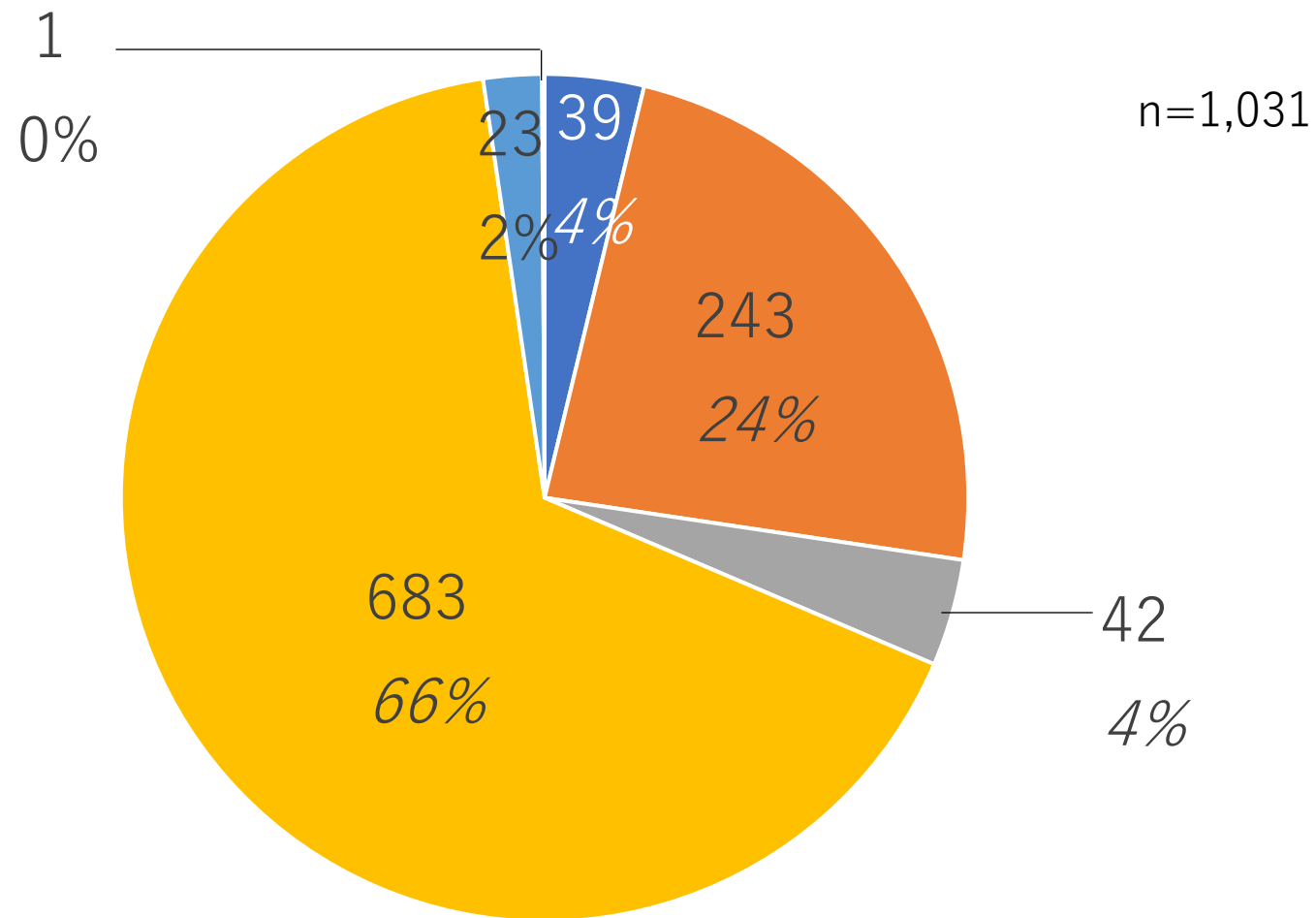


補足

監督職  
（係長に準ずる）

管理職（課長補佐、主幹以上）

# 学歴 (管理栄養士・栄養士資格の取得 もしくは関連分野に関わる最終学歴)

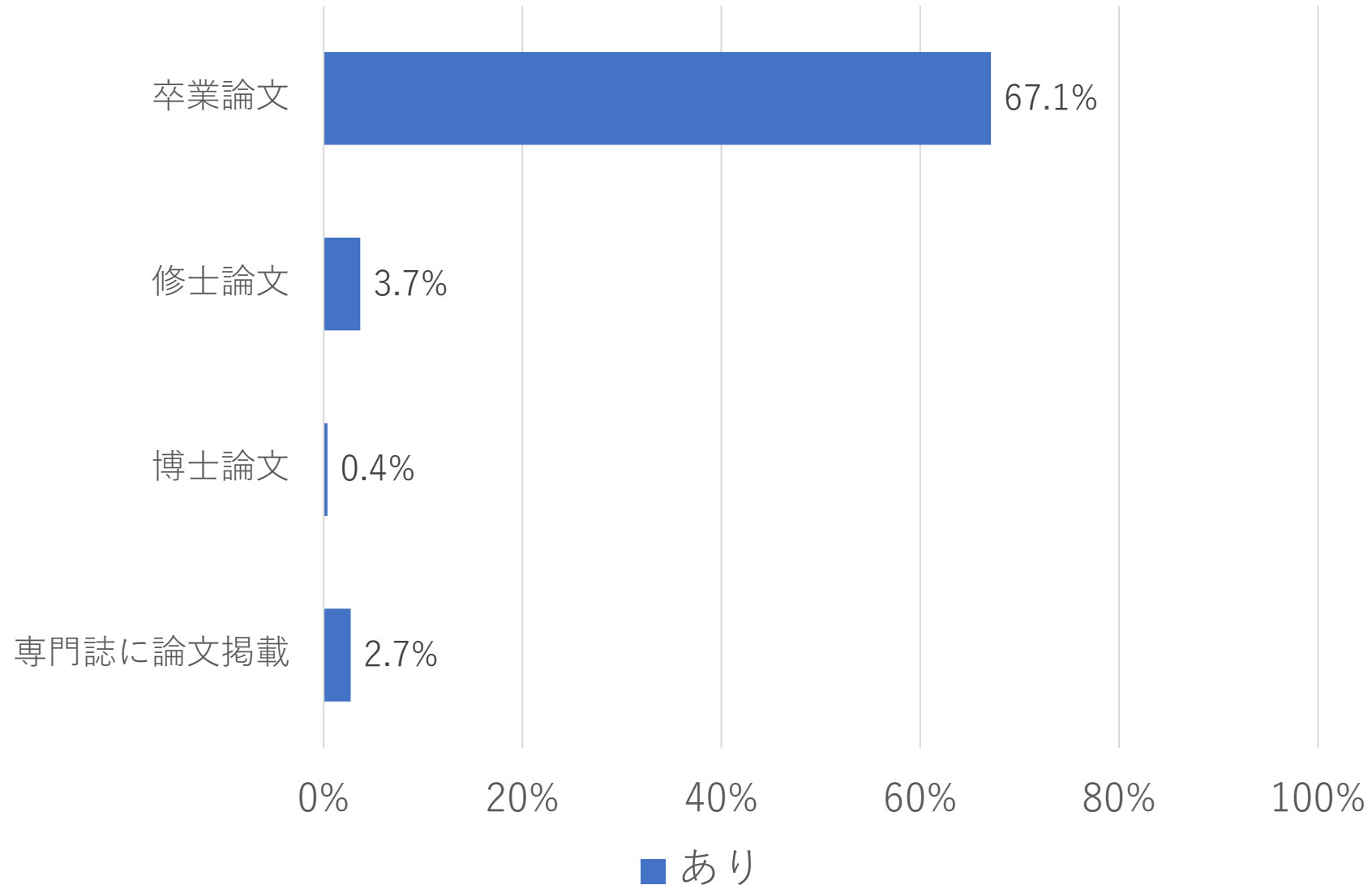


■ 専門学校 ■ 短期大学 ■ 短期大学専攻科 ■ 大学 ■ 大学院修士課程 ■ 大学院博士課程



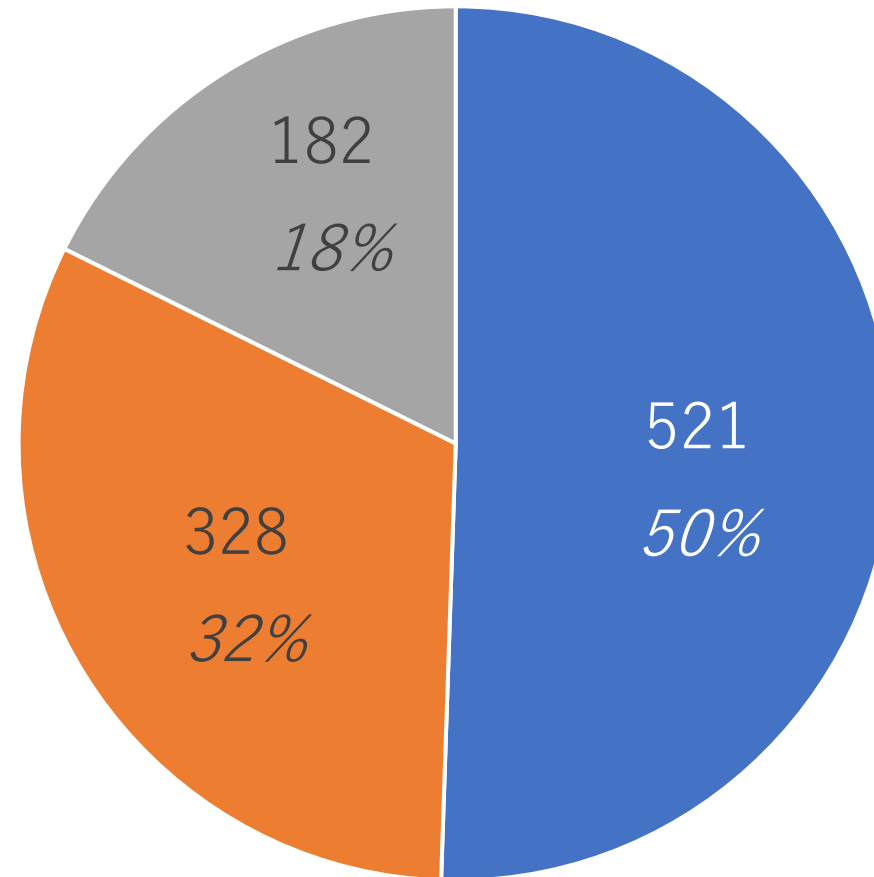
# 論文作成実績

n=1,031



# 将来的に目指したい職位（本庁での職位として勘案）

n=1,031



■ 係員 ■ 監督職 ■ 管理職

補足

監督職  
(係長に準ずる)

管理職 (課長補佐、主幹以上)

# 現在の職位別に見た将来的に目指す職位

## 目指す職位

		係員	監督職	管理職	総計
現在 職位	係員	515 (59.1)	241 (27.6)	116 (13.3)	872 (100)
	監督職	5 (4.0)	85 (67.5)	36 (28.6)	126 (100)
	管理職	1 (3.0)	2 (6.1)	30 (90.9)	33 (100)
	総計	521	328	182	1,031

上段が人数  
下段が割合

補足

監督職  
(係長に準ずる)

管理職 (課長補佐、主幹以上)

# 将来的に目指したい職位別にみた目指す理由

	係員 (n=521)	監督職 (n=328)	管理職 (n=182)	(%)
他職種に負けないう昇任して業務を行いたい。	3.8	18.6	39.0	
既に他職種や自身が目指す職位者と同等以上に業務を行える自信がある。	0.8	5.8	14.3	
昇任して人事権や予算権を持って業務を行いたい。	0.2	5.2	18.7	
昇任して自身や同僚の管理栄養士等が立案した施策を積極的に展開したい。	3.3	27.1	48.4	
昇任して組織内での管理栄養士等の定員を増やしたい。	2.9	25.9	36.3	
昇任して組織内での管理栄養士等の役職ポストを増やしたい。	1.3	14.0	28.6	
幅広く自治体の行政に関わり、大局的な視点から業務を行いたい。	11.9	33.2	50.5	
従前からの慣例で昇任できる職位は決まっている。	12.9	14.0	11.5	
昇任することよりも他職種との人間関係を重視したい。	32.2	34.1	18.7	
育児や介護を優先したいので、無理に昇任したくない。	29.2	25.6	6.0	
健康上の理由で、無理に昇任したくない。	10.7	7.9	1.6	
自分自身が自由に使える時間を減らしたくないので、無理に昇任したくない。	24.8	17.4	4.9	
昇任することで、過大な責任を負いたくない。	22.5	22.0	6.0	
自身に昇任するだけの学力や能力は備わっていないと思う。	35.1	27.1	6.0	
現状に満足しているので、昇任する必要性を感じていない。	22.8	10.1	3.8	
その他の理由	23.0	5.2	7.7	

# 将来的に目指したい職位別にみた 将来の方向性

(%)

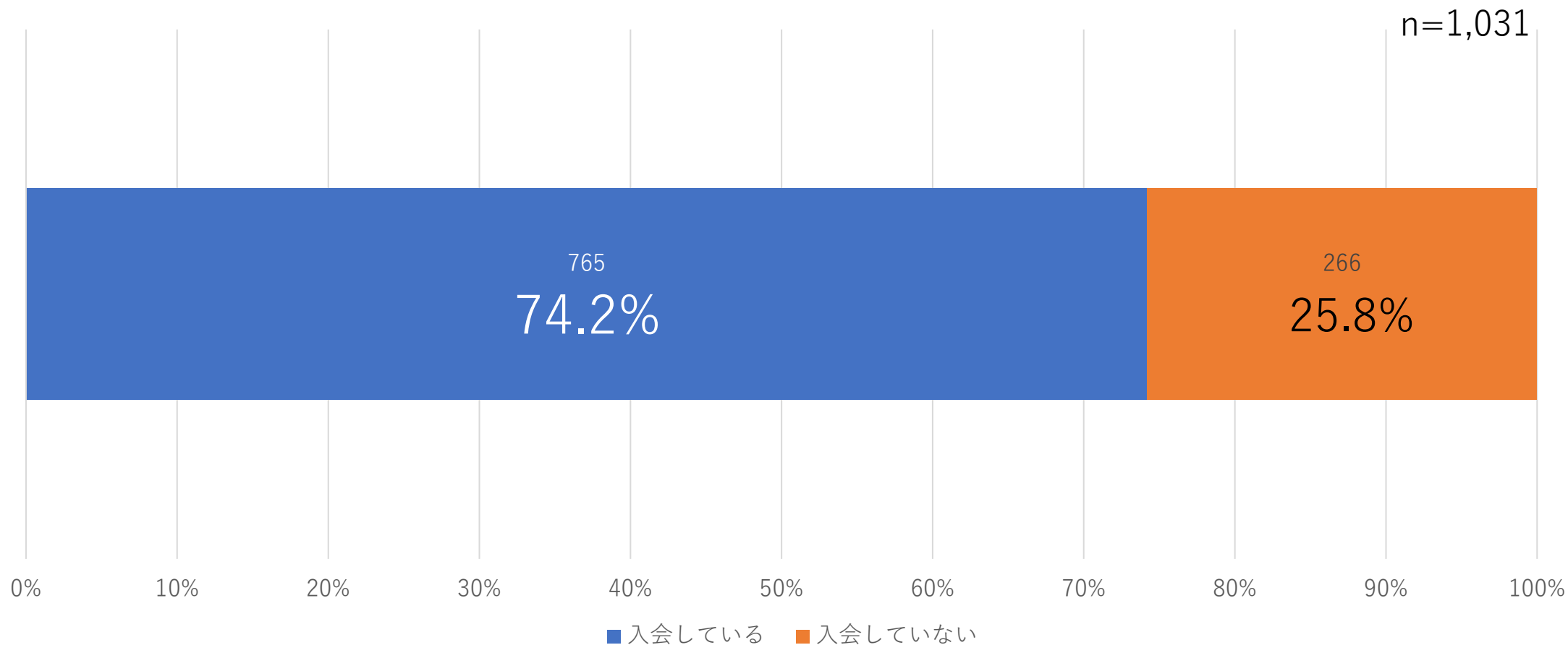
	係員 (n=521)	監督職 (n=328)	管理職 (n=182)
栄養のスペシャリストとして、このまま業務を行いたい。	79.7	62.8	35.2
栄養のスペシャリストとして、昇任して業務を行いたい。	4.0	21.6	47.8
公衆衛生関係のゼネラリストとして、このまま業務を行いたい。	15.2	21.6	14.3
公衆衛生関係のゼネラリストとして、昇任して業務を行いたい。	0.6	9.8	28.6
国や他自治体に転職をしたい。	3.5	3.4	4.4
自身の能力をさらに発揮するため、健康づくり業務以外の部署 (行政部局内)に異動したい。	8.6	16.5	23.1
自身の能力をさらに発揮するため、健康づくり業務以外の部署 (行政部局外の病院など)に異動したい。	3.1	7.0	3.8
自身の特性に合致しないため、過去に勤務していた健康づくり業 務以外の部署に異動したい。	1.2	2.1	1.1
職種転換(事務職等)をしたい。	5.2	6.1	6.0
行政以外の仕事に転職したい(大学等の教員や研究職)。	2.7	6.4	7.7
行政以外の仕事に転職したい(大学等の教員や研究職以外)。	15.5	7.9	9.3
退職したい(働く気持ちがない)。	6.7	2.4	1.1

将来的に目指したい職位別にみた自身の将来（10年後もしくは、退職前まで）にとって、スキルアップしておかなければならない内容（上位3つ選択）

(%)

	係員 (n=521)	監督職 (n=328)	管理職 (n=182)
行政能力（職業倫理、行動規範等）	18.2	27.4	26.9
専門能力（専門分野の知識、栄養指導技術等）	<u>80.0</u>	<u>64.6</u>	<u>56.0</u>
地域支援力（他職種連携、住民との協働等）	45.5	43.0	31.3
調査研究能力（情報収集、データ分析解析、実践研究報告（論文）等）	24.8	27.1	31.9
調整能力（リーダーシップ、合意形成、論理的な説明、コミュニケーション等）	24.2	34.8	48.9
政策形成能力（PDCAサイクルに基づく政策形成と評価等）	25.7	28.4	29.1
情報発信能力（プレゼンテーション、仕事の見える化等）	27.4	31.7	23.6
組織運営能力（「人・もの・予算」の適切な獲得）	9.8	18.3	29.7
危機管理能力（災害・食中毒・感染症等への対応等）	18.6	14.9	14.3
その他	1.3	0.6	1.6

現在、職能団体（日本（都道府県）栄養士会）に入会していますか。



## 職能団体に入会している理由 (複数回答)

n=765

	人数	割合 (%)
必要な情報や知識・技術が得られるため。	588	76.9
他分野の管理栄養士等と関わり、自身の仕事の幅を広げたり、新たな人間関係を構築したかったため。	287	37.5
職務上入会する必要があったため。	257	33.6
養成施設の教員や先輩栄養士等の関係者より入会を勧められたため。	215	28.1
職能団体としての社会的地位向上に貢献したいため。	118	15.4
その他	9	1.2

職能団体が開催する集合型の研修会や勉強会、あるいは、Webなどを活用した遠隔での研修（e-ラーニング等）について、直近の1年間の参加状況

n=765

	人数	割合 (%)
3回以上	167	21.8
1回～2回	323	42.2
参加していない	275	35.9



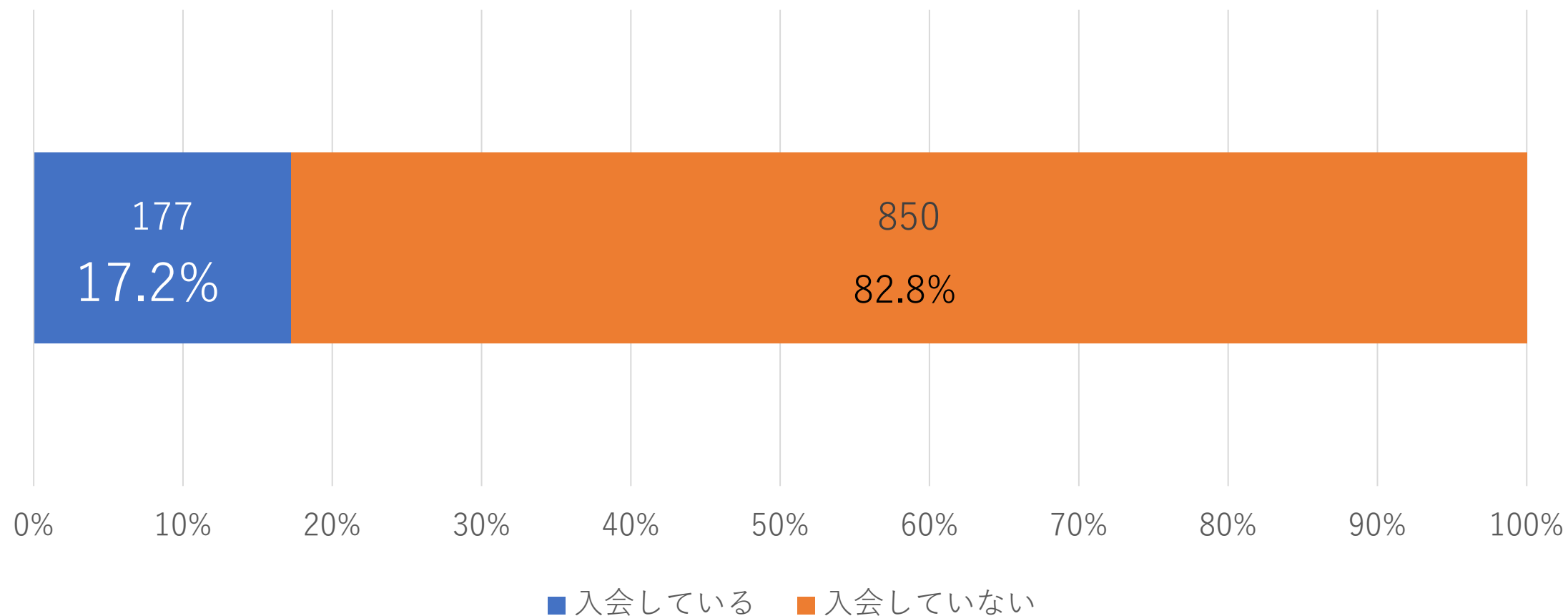
# 職能団体に入会していない理由 (複数回答)

n=266

	人数	割合 (%)
会費に見合っただけのメリットがない。	125	47.0
特に入会しなくても、必要な情報や知識は、職場、所属する学会誌、インターネット等から得られる。	117	44.0
特に理由はない（入会する機会がなかった。）。	67	25.2
役員などの業務を引き受けたくない。	59	22.2
その他	47	17.7
自身のプライベートを大切にしたい。	33	12.4
会費の未納等の理由により、いつの間にか退会扱いとなった。	17	6.4
日常、支援・指導している他分野の管理栄養士等と関わりたくない。	2	0.8

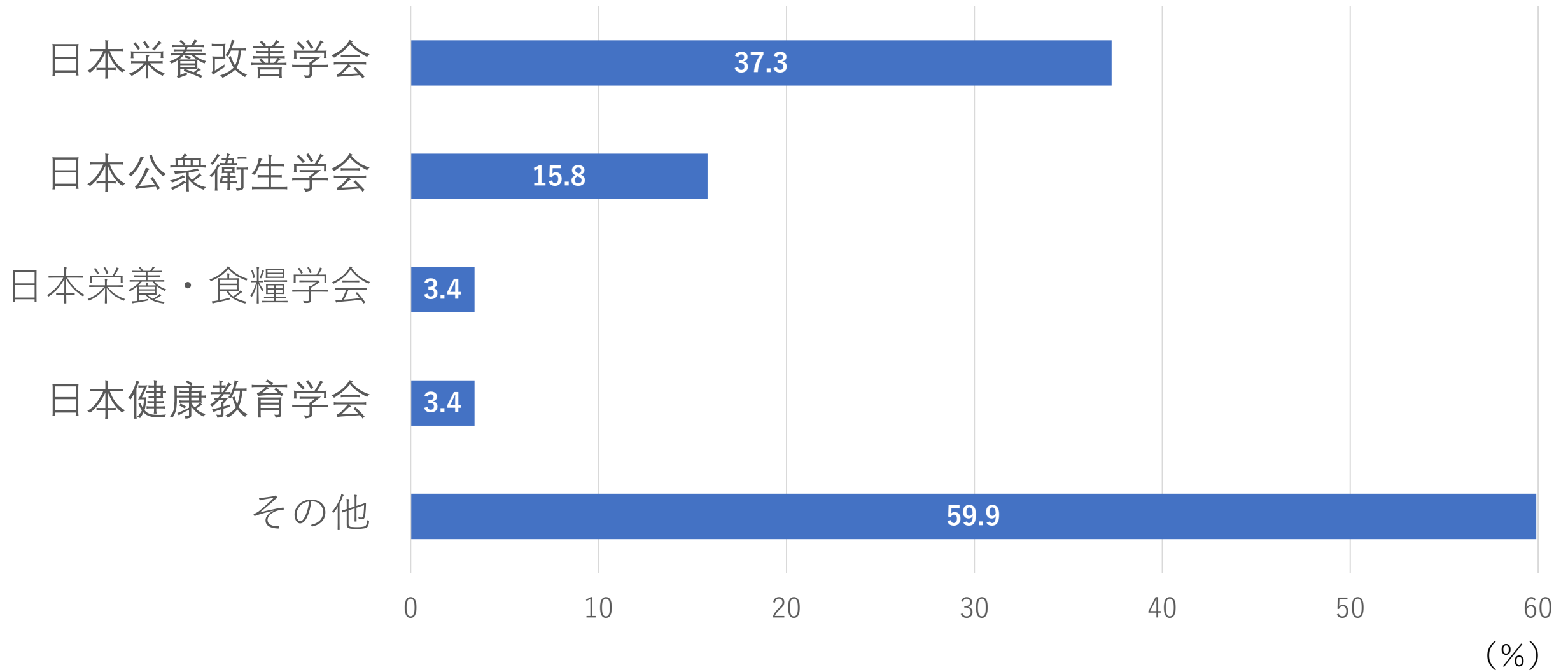
## 関連学術団体への入会状況

n=1,027



# 入会している関連学術団体の状況

n=177



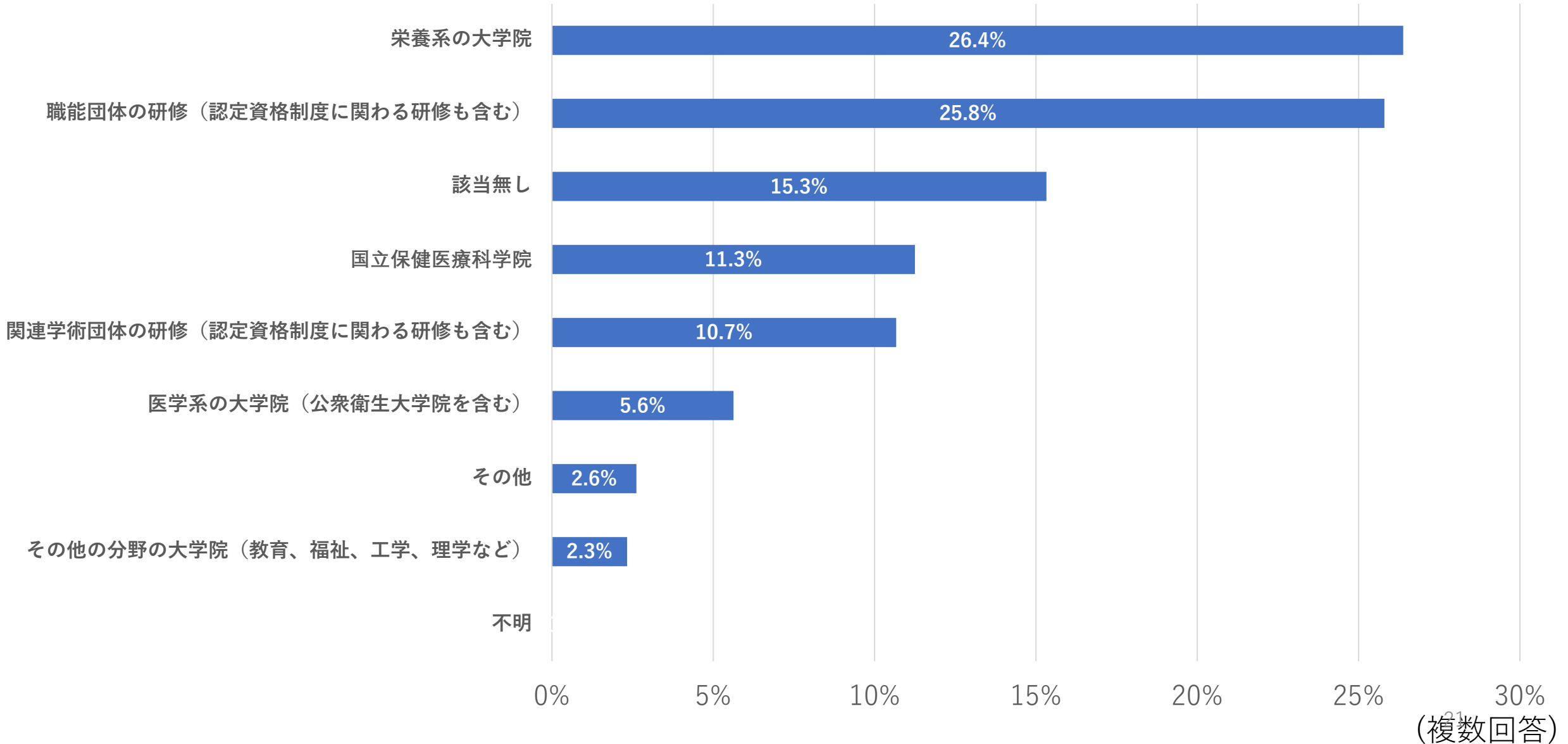
# 関連学術団体に入会している理由 (複数回答)

n=177

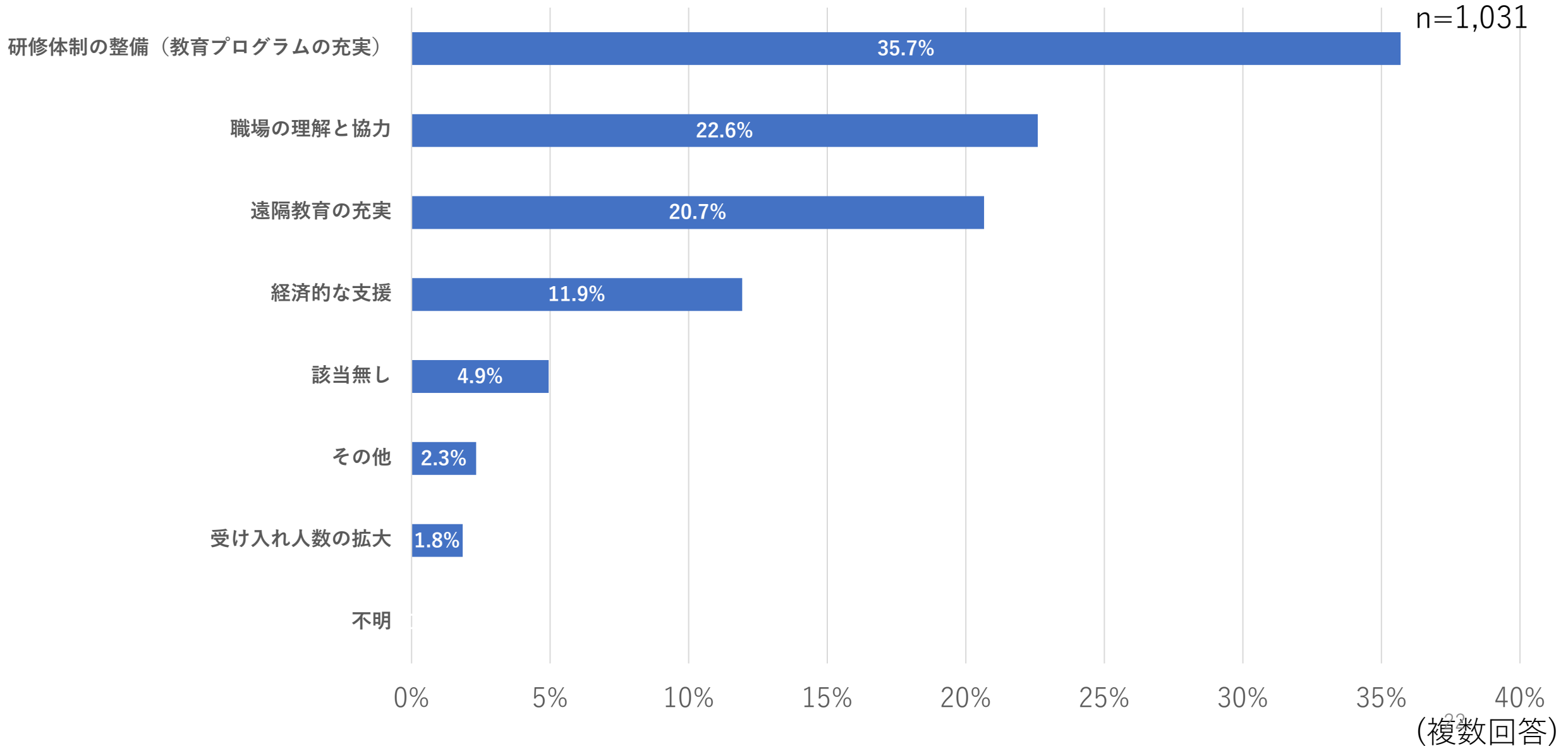
	人数	割合 (%)
所属することで、職場では得られない必要な情報や知識が得られるため。	135	76.3
他職種や他分野の管理栄養士等と関わり、自身の仕事の幅を広げたり、新たな人間関係を構築するため。	47	26.6
会費に見合っただけのメリットがあるため。	44	24.9
認定資格等を新たに取得したり、継続・維持するため。	41	23.2
業務の実績等を発表・発信するため。	17	9.6
その他	14	7.9
役員などの業務を通じて、職種としての資質向上に活かしたいため。	6	3.4

# あなた自身のスキルアップのため所属・入学・受講してみたい外部機関や取り組み(1位)

n=1,031

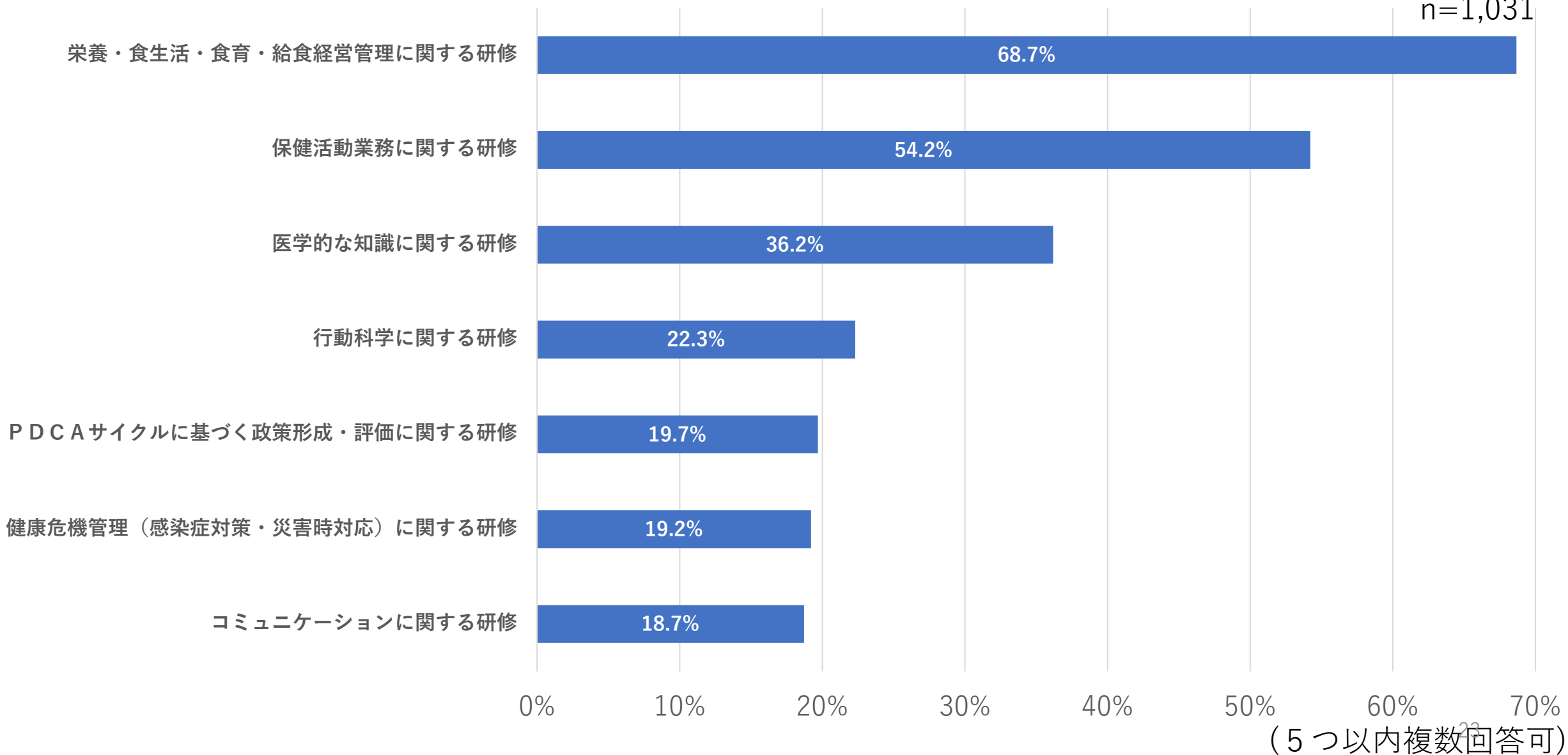


# あなた自身のスキルアップのため必要な体制整備について、 あなたが優先すべきと考える順位（1位）



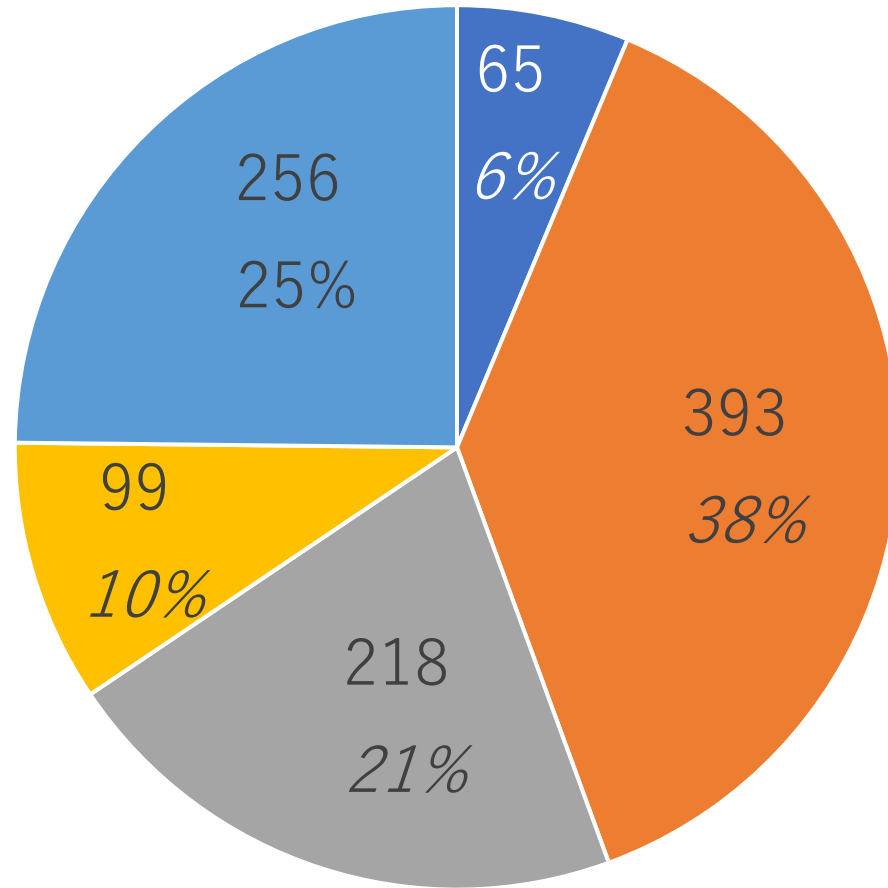
# あなた自身のスキルアップのため、現在勤務している自治体及び都道府県が実施した研修で特に役立ったと思う内容（上位）

n=1,031



# 自身のスキルアップのため、認定栄養士・ 認定専門家制度の必要度

n=1,031

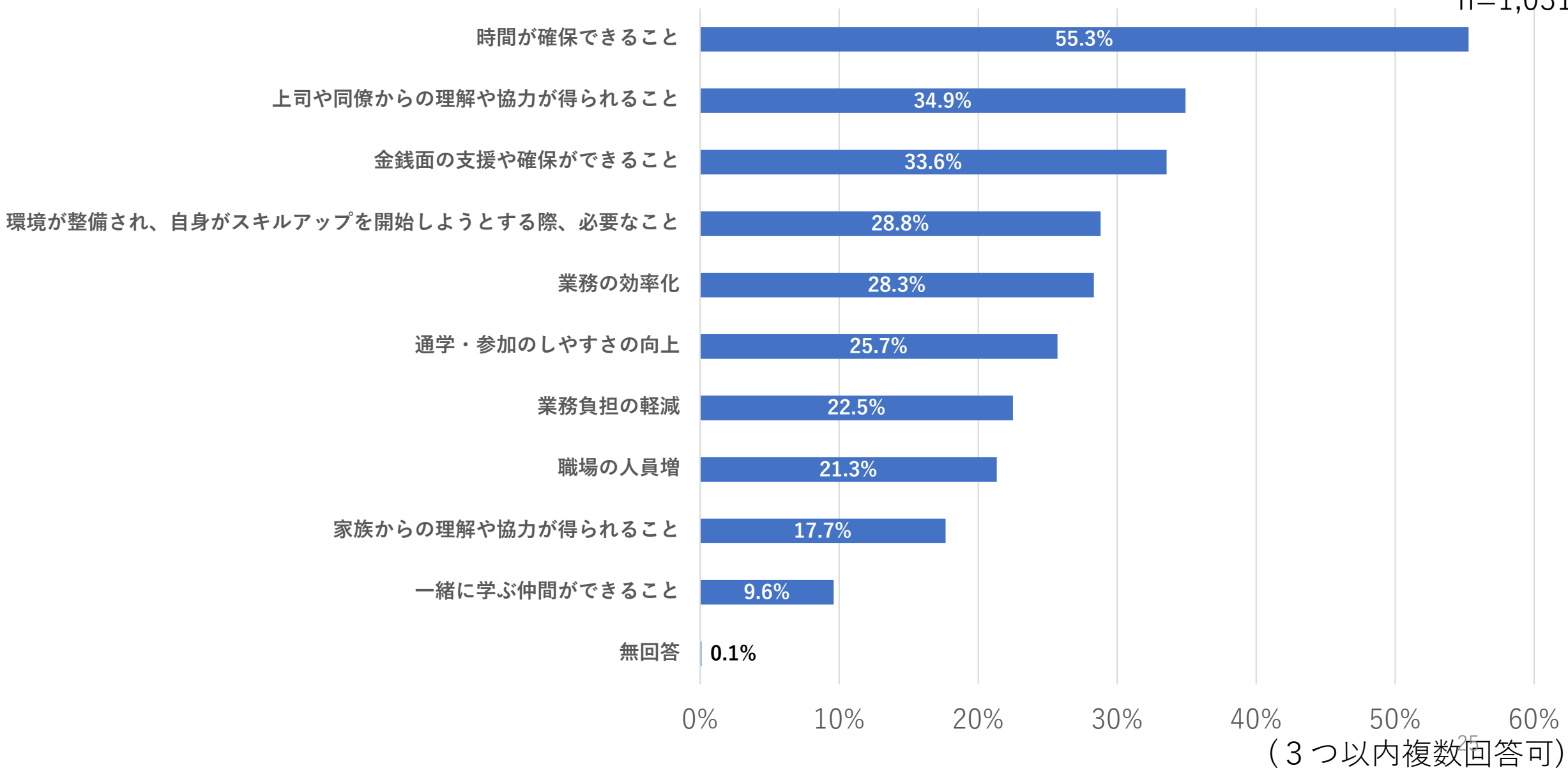


■ とても必要 ■ 必要 ■ 現状レベルでよい ■ あまり必要でない ■ わからない

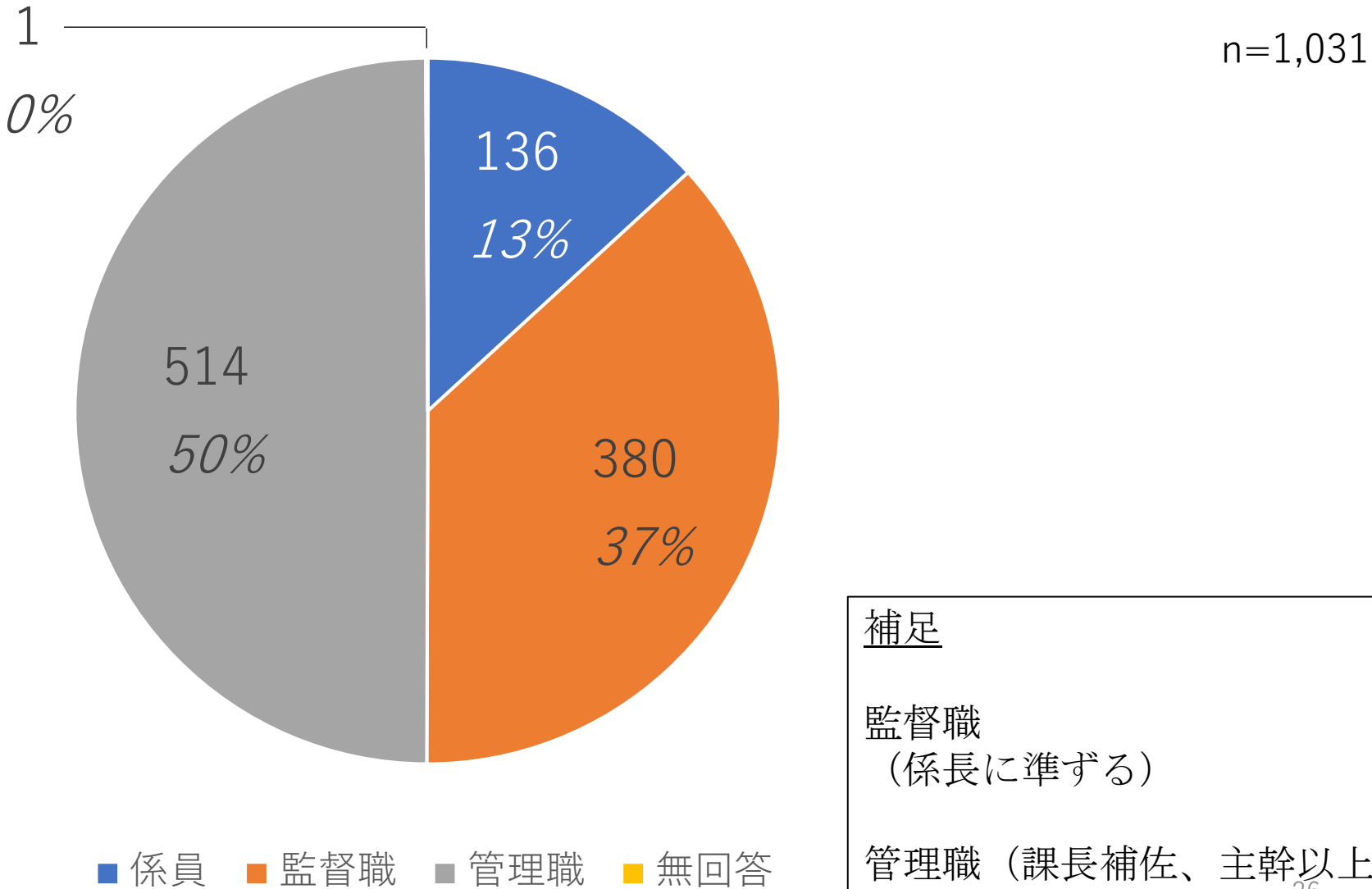


# 環境が整備され、自身がスキルアップを開始しようとする際、必要なこと

n=1,031

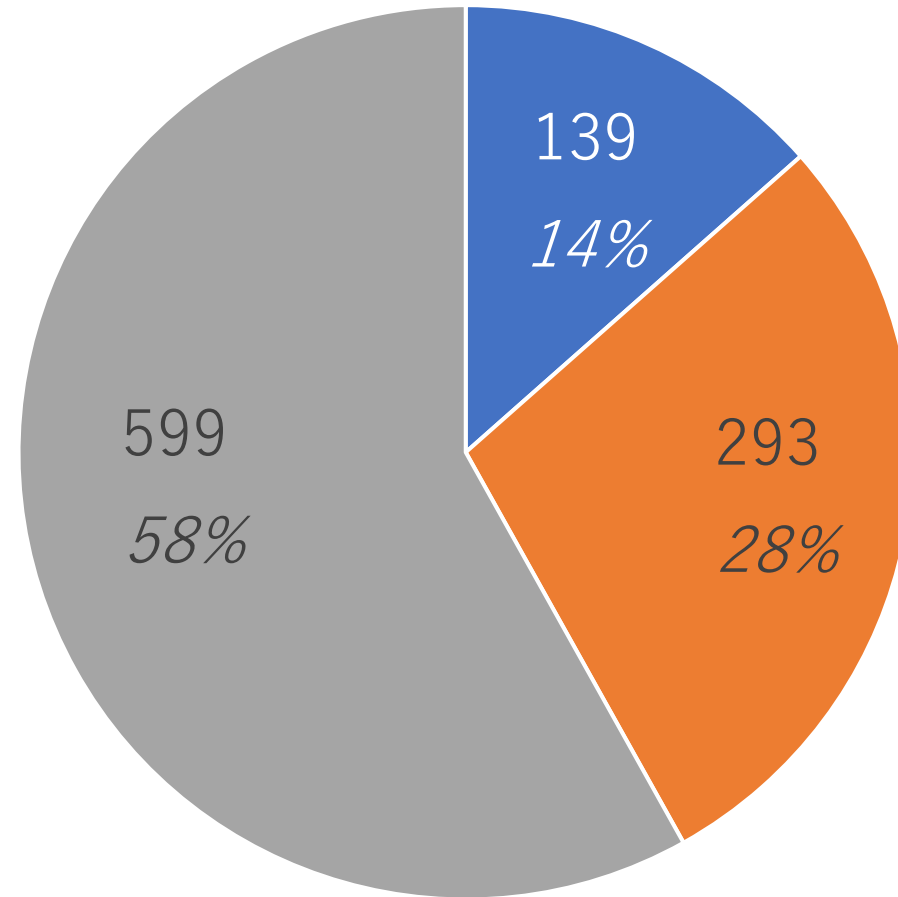


# 勤務する市町村のすべての管理栄養士等のうち、10年後に最も高い職位となる者が得てほしい職位（本庁での職位として勘案）



あなたには、自身のキャリアプランはありますか。

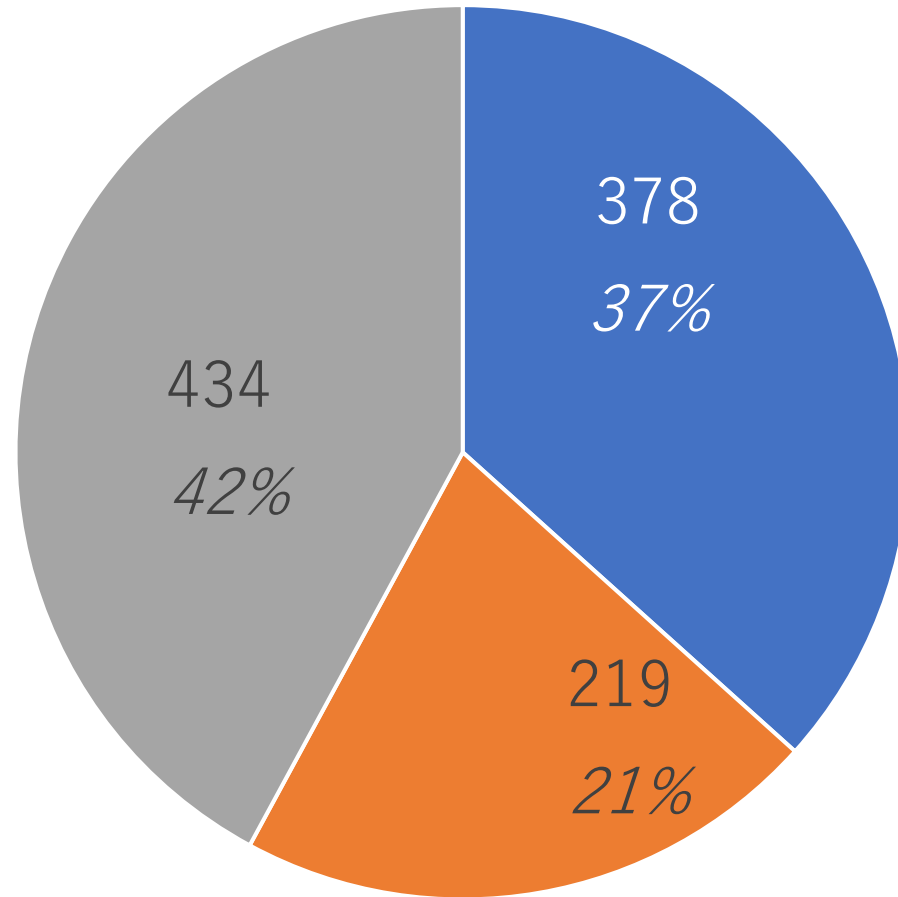
n=1,031



■ ある ■ ない ■ 検討中

あなたは、ビジョンや目標（短・中・長期）を掲げて  
仕事していますか。

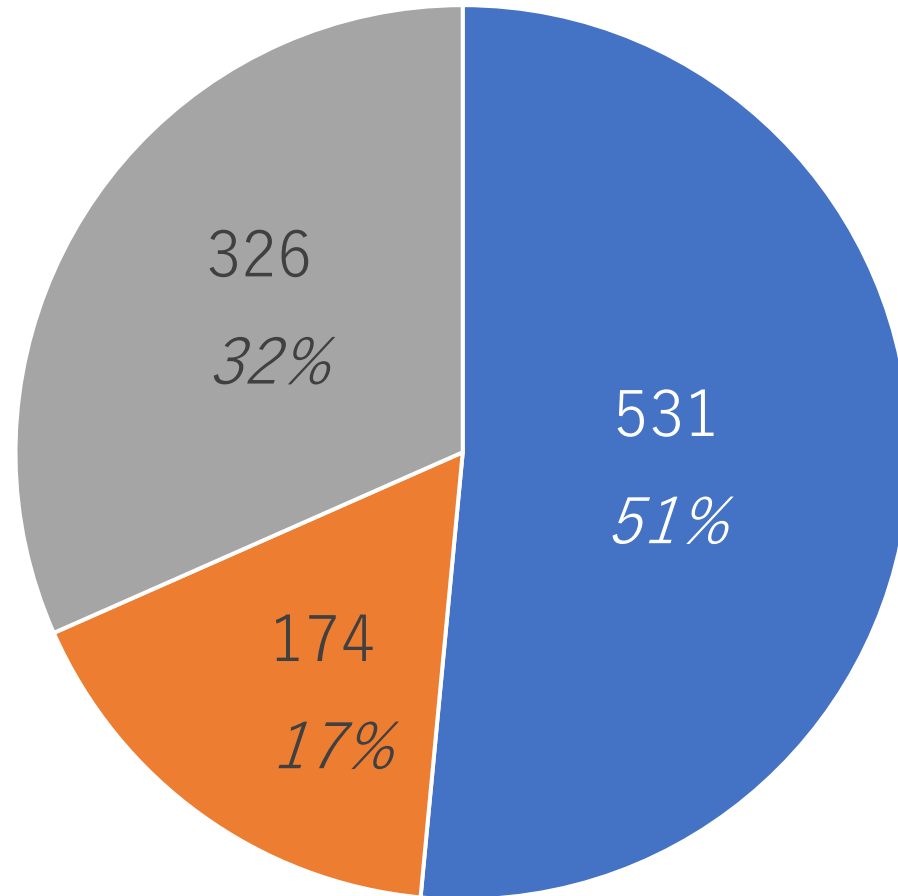
n=1,031



■ している ■ していない ■ 検討中

あなたには、目標とする栄養士像もしくは人物像（将来の目標到達に向けて、備えたい能力や能力を身に付けるためにすべきこと）  
はありますか。

n=1,031



■ ある ■ ない ■ 検討中

# まとめ

- 将来的に目指したい職位は係員が5割であった一方、自治体で10年後に最も高い職位となる者が得てほしい職位は監督・管理職が9割であり、**昇任に向けた能力開発**は重要
  - 目指したい職位が係員であった理由は「自身に昇任するだけの学力は備わっていないと思う」が最も多く、**自信の向上につながる能力開発**も好ましい可能性
  - 他方、目指したい職位に関わらず将来「栄養のスペシャリストとして業務を行いたい」意向が最も多く、栄養指導技術などの**専門能力に特化した能力開発**の需要も存在
- 効果的な地域の栄養改善のために、それぞれのニーズに対して既存の研修も考慮した育成プログラムの開発が必要と考えられる